

たかはし ゆうじ
高橋 雄司

住所: 〒012-0105 湯沢市川連町字大田面34
電話: 0183-42-3532
師匠: 高橋兵治郎
系統: 木地山系川連

■プロフィール
昭和9年生まれ。
昭和25年より木地修行をはじめ、昭和38年からこけしを製作している。



しばた りょうじ
柴田 良二

住所: 〒012-0105 湯沢市川連町字大館清水川226
電話: 0183-42-3369
師匠: 柴田鉄蔵
系統: 木地山系川連

■プロフィール
昭和19年生まれ。
仏壇製造卸業の傍ら、20歳台より修行し、平成23年より本格的にこけし製作を始める。
鉄蔵型を主流に木地山系を探究。広く伝承している。



なかかわ いくお
中川 郁夫

住所: 〒019-0204 湯沢市横堀字旭町51-1
電話: 0183-52-2829 携帯090-1069-4737
師匠: 鈴木幸太郎
中川徳二郎
系統: 木地山系

■プロフィール
昭和30年生まれ。
昭和48年より木地修行をはじめ、平成20年からこけしを製作している。



すがわら おさむ
菅原 修

住所: 〒015-0041 由利本荘市薬師堂谷地240-15ユーハイム205
電話: 080-6054-6637
師匠: 河村守
系統: 鳴子系本荘

■プロフィール
昭和27年生まれ。
昭和62年より製作を始める。



あべ このみ
阿部 木の实

住所: 〒012-0105 湯沢市川連町字万九郎屋布24-3
電話: 0183-42-4572
師匠: 阿部平四郎
系統: 木地山系川連

■プロフィール
昭和37年生まれ。
昭和60年よりこけしを製作している。



さとう たつお
佐藤 達雄

住所: 〒012-0105 湯沢市川連町字大館屋布前41-7
電話: 0183-42-3534 携帯090-7333-6168
師匠: 佐藤四郎
佐藤秀一
系統: 木地山系川連

■プロフィール
昭和18年生まれ。
漆器製造卸業の傍ら、平成7年頃からこけしを製作し始める。木地山系を中心として、嘉市型も製作している。



ほんま いさお
本間 功

住所: 〒019-0522 横手市十文字町梨木字海道下38-3
電話: 0182-42-0029 携帯080-1683-8455
師匠: 小椋拾治郎
系統: 木地山系

■プロフィール
昭和10年生まれ。
昭和54年頃からこけしを製作し始める。
平成14年からは泰一郎型も製作している。



さとう こずえ
佐藤 こずえ

住所: 〒015-0890 由利本荘市船ヶ台15-44
師匠: 菅原修
系統: 鳴子系本荘

■プロフィール
昭和36年生まれ。
平成27年より製作を始める。



きたやま けんいち
北山 賢一

住所: 〒013-0105 横手市平鹿町浅舞字林崎22
電話: 0182-24-0573
師匠: 阿部平四郎
系統: 木地山系川連

■プロフィール
昭和22年生まれ。
昭和46年より木地修行をはじめ、昭和57年からこけしを製作している。



ぬまくら たかひこ
沼倉 孝彦

住所: 〒012-0822 湯沢市字下山谷225-1
電話: 0183-72-2031 携帯090-2794-6674
師匠: 佐藤達雄
井川武松
系統: 木地山系川連


■プロフィール
昭和28年生まれ。
平成17年よりこけしを製作している。



たかはし かずなり
高橋 一成

住所: 仙北郡美郷町六郷在住
師匠: 本間功
系統: 木地山系

■プロフィール
昭和52年生まれ。
平成31年よりこけしを製作している。



さいとう さちこ
齋藤 祥子

住所: 由利本荘市在住
師匠: 菅原修
系統: 鳴子系本荘


■プロフィール
昭和49年生まれ。
平成30年6月から木地修行を始める。



みはる ふみお
三春 文雄

住所: 〒012-0106 湯沢市三梨町字下宿57
電話: 0183-42-3133 携帯090-7077-6551
師匠: 小野寺正徳
系統: 木地山系川連

■プロフィール
昭和29年生まれ。
昭和59年より木地修行をはじめ、昭和63年からこけしを製作している。



ふじわら かつろう
藤原 勝郎

住所: 〒012-0106 湯沢市三梨町字上堀222
電話: 0183-42-3695 携帯090-7794-1436
系統: 木地山系

■プロフィール
昭和19年生まれ。
平成20年より自ら轆轤を探し求めて、こけし製作を始める。



たむら ただし
田村 正

住所: 〒010-0973 秋田市八橋本町1-3-29
電話: 携帯090-8616-4974
師匠: 小野寺幸楽

■プロフィール
昭和27年生まれ。(号 秋田幸楽)
昭和54年師匠のこけしと出逢い感銘。
平成27年からは、主にめでたい松竹梅を胴模様にデザイン化して製作。



おかもと ゆう
岡本 雄

住所: 〒018-0851 由利本荘市平岫字牛王瀬14
電話: 携帯090-3270-7730
師匠: 菅原修
系統: 鳴子系本荘

■プロフィール
昭和59年生まれ。
家具工房「木工舎つきのわ」代表。
本荘のこけしを残していきたいという思いから、令和4年よりこけしを製作している。



秋田のこけし

雪国からの贈りもの



木地山系こけしの歴史

江戸末期(文政～天保年間)、多くの木地師たちが良質な木材を求めて、滋賀や信州から会津(福島県)や鬼首(宮城県)を経て、木地山に入ってきた。

この木地師たちが、地元の湯治場の土産品として「こけし」を作り始めた。これが「木地山系木地山こけし」である。この系列は、木地山系の始祖小椋一族の流れをそのまま汲むもので、その後多くのこけし工人を輩出し、今にその流れを受け継いでいる。初期の木地山系は、「鳴子系(宮城県大崎市)」の影響を強く受け、その後分化された。

さらに明治期以降、国の林業政策の改革により木材の伐採の制限がされ、ほとんどの木地師たちは山を下り、漆器産地である川連へ移り住み、木地業をしながらこけしを作り始めた。そして、以前から川連にいた木地職人も、それに習いこけしを作り始めた。

これが「木地山系川連こけし(秋田県伝統的工芸品指定)」である。

鳴子系本荘こけしの歴史

鳴子(宮城県)から本荘の地へ移り住んだ木地師から、様々な木工技術が本荘の地に生まれた事を始まりとすれば、本荘こけしはおよそ150年かけて今に受け継がれている工芸品となる。

初代河村辰治は、本荘で木地師として仕事を始めたが、師匠国松の勧めにより、鳴子の高橋直蔵のもとで、こけし造りの技術を習得した。そのため本荘こけしは頭部をはめ込む造り方を基本とし、その頭部は回すとキュッキュッと音が鳴るなど鳴子系統の特徴を持つ。

辰治以降、河村家で代々受け継がれてきた本荘こけしは、たちこ型の形態、井桁模様を中心とした伝統柄などを大切にしながら、高い技術と共に継承され続けている。

秋田のこけしの代表的な型

代表的な型	徳一型	石蔵型	兵治郎型	米吉型	泰一郎型	久四郎型	清太郎型
顔							
頭							
胴体							

無垢で繊細な匠の世界

古来から、一本一本心を込めて作られてきた古風で美しい「秋田のこけし」は、「木地山系こけし」「鳴子系本荘こけし」として、長い歴史に基づいた伝統を大切に守ってきました。その匠たちが切磋琢磨し、現在の工芸品としての「秋田のこけし」の世界を作り上げたのです。その独特の作風は、全国各方面から高い評価を受け、今、多くのこけしファンから注目を集めています。

静かに微笑む本偶の詩

東北の中でも最も雪深いとされるこの湯沢の山村などで、古くから木地師たちが椀や盆を挽く傍ら、その木材料で子どもたちのための玩具として作ったのが始まりといわれています。そして、地元湯治場の土産品として多く利用され、今では全国の多くのこけしファンに鑑賞用やおめでたい贈答品として愛されるようになりました。素朴で優しく温もりのある「めんこい秋田のこけし」は、今、日本人が忘れている「美しく愛でる心」を静かに蘇らせてくれます。



秋田県こけし工人会

お問い合わせは
 〈事務局〉
 〒012-0822 秋田県湯沢市字下山谷225-1
 TEL 0183-72-2031 (FAX兼)
 mail: altair@tune.ocn.ne.jp



令和5年7月発行・無断複製厳禁